

【基本方針】

当社は「北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質を提供する」を企業ミッションとして、埼玉県飯能市に所在する宮沢湖においてムーミンの物語の世界観を体験できる「ムーミンバレーパーク」を運営しております。当社は、来園されるゲストの皆様、株主の皆様、協賛企業、地元自治体・企業やお取引先企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様からの信頼と共感をもとに、企業価値を高めてまいります。

【経営環境】

当期におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府からの緊急事態宣言の発令による、外出自粛や営業制限などに伴う国内個人消費が大幅に減少し、極めて厳しい年度となりました。

このような状況の中、ムーミンバレーパークは2020年4月の年度開始から65日間の休園となり、6月4日から営業を再開するにあたり、県が取り組むよう推進している感染拡大防止のガイドライン「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」を踏まえ、「3つの密」を避けることなど対策を実施し、来園者、従業員問わず、検温やこまめな手指消毒や施設内の消毒の感染対策を徹底致しました。

一方でコロナ禍の影響による来場者数、売上高の急減を踏まえて4月以後人件費や管理コストなどの削減により、収益体質の強化及び運転資金の確保を図りました。

当社の自然豊かな屋外の環境であることや、日本最大級・約2,000本の色とりどりの傘が広がる「メツァ アンブレラスカイ・デザインプロジェクト 2020」開催などで、第2四半期は来場者が徐々に回復傾向に向かい、SNSを活用したフォトコンテスト実施なども好評を頂きました。

また2021年1月8日からの2度目の緊急事態宣言発令中は感染対策の徹底を行い閉園することなく営業を続けました。3月のムーミンバレーパーク2周年に合わせた「SPRING FESTIVAL」では、「春のしらべ」をモチーフにした各種体験型のイベントや、ムーミン谷エリアのデコレーションなど、春のムーミンバレーパークを更に楽しめる様々なコンテンツを展開しました。またエンマの劇場では、ライブエンターテインメントの演目がリニューアルされ「自由でしあわせな生活」を開始いたしました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高2,111百万円（前年同期間は5,153百万円）、営業損失747百万円（前年同期間は営業損失142百万円）、経常損失921百万円（前年同期間は経常損失362百万円）、当期純損失1,091百万円（前年同期間は当期純損失436百万円）となりました。

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,007	流動負債	2,344
現金及び預金	571	買掛金	38
売掛金	48	短期借入金	188
商品	210	関係会社短期借入金	400
原材料及び貯蔵品	46	リース債務	254
前払費用	65	未払金	1,139
未収入金	33	未払費用	46
関係会社短期貸付金	23	未払法人税等	56
その他	8	預り金	6
固定資産	7,138	賞与引当金	24
有形固定資産	5,655	その他	188
建物	106	固定負債	5,598
構築物	174	長期借入金	620
機械装置	33	リース債務	4,978
車両運搬具	2		
工具器具備品	353	負債合計	7,942
リース資産	4,984	(純資産の部)	
建設仮勘定	0	株主資本	188
無形固定資産	27	資本金	2,032
ソフトウェア	27	資本剰余金	2,032
投資その他の資産	1,455	資本準備金	2,032
関係会社株式	8	利益剰余金	△3,875
関係会社出資金	399	その他利益剰余金	△3,875
関係会社長期貸付金	754	新株予約権	15
その他	293	純資産合計	203
資産合計	8,146	負債・純資産合計	8,146

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

科目	金額	
売上高		2,111
売上原価		2,115
売上総損失		△4
販売費及び一般管理費		743
営業損失		△747
営業外収益		
受取利息	12	
匿名組合利益	75	
助成金収入	53	
その他	4	145
営業外費用		
支払利息	314	
その他	5	319
経常損失		△921
特別利益		
固定資産売却益	14	
雇用調整助成金	83	98
特別損失		
固定資産除却損	20	
臨時休園による損失	220	
減損損失	24	265
税引前当期純損失		△1,088
法人税、住民税及び事業税		3
当期純損失		△1,091

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 資産の評価基準及び評価方法
 有価証券の評価基準及び評価方法
 関係会社株式
 移動平均法による原価法によっております。
 匿名組合出資金
 匿名組合の出資時に「匿名組合出資金」を計上し、匿名組合が獲得した純損益の持分相当額については、営業外損益に計上するとともに同額を「匿名組合出資金」に加減する処理を行っております。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 商品
 総平均法に基づく原価法によっております。
 原材料
 総平均法に基づく原価法によっております。
 貯蔵品
 最終仕入原価法に基づく原価法によっております。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 有形固定資産(リース資産を除く)
 定率法を採用しております。
 ただし、建物並びに建物附属設備及び構築物については定額法によっております。
 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
- | | |
|--------|---------|
| 建物 | 7～35 年 |
| 構築物 | 10～20 年 |
| 機械装置 | 17 年 |
| 車両運搬具 | 2～4 年 |
| 工具器具備品 | 2～20 年 |
- 無形固定資産
 定額法を採用しております。
 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。
- リース資産
 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- (4) 引当金の計上基準
 賞与引当金
 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。
- (5) 消費税等の会計処理の方法
 税抜方式によっております。

(6) 外貨建ての資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

- 1 担保に供している資産
関係会社株式 8百万円
- 2 担保に係る債務
短期借入金 148百万円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 1,454百万円

(3) 保証債務の残高

被保証者	保証債務残高(百万円)	被保証債務の内容
飯能地域資源利活用合同会社	5,439	借入金の債務保証
計	5,439	

(4) 関係会社に対する金銭債権・債務(区分表示したものを除く)

短期金銭債権	13百万円
長期金銭債権	190百万円
短期金銭債務	731百万円
長期金銭債務	4,607百万円

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生主な原因別の内訳

繰延税金資産	
償却超過額	79百万円
賞与引当金	7百万円
新株予約権	4百万円
未払事業税等	7百万円
その他	25百万円
繰越欠損金	1,047百万円
繰延税金資産小計	1,173百万円
評価性引当額	△1,173百万円
繰延税金資産合計	-百万円
繰延税金負債	-百万円
繰延税金負債合計	-百万円
繰延税金資産の純額	-百万円

4. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	フィンテックグローバル株式会社	被所有 直接 43.61% 間接 9.87%	事務所の賃借 資金の借入 業務の委託 固定資産の譲渡	事務所転賃料等	156	敷金	77
				資金の借入(注1)	-	関係会社借入金	400
				委託料の支払	34	未払金	191
				固定資産の売却	75	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(2) 子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	飯能地域資源利活用合同会社	所有 直接 -	債務保証 土地の賃借 建物の賃借 資金の貸付	債務保証(注1)	5,439	-	-
				地代の支払	136	敷金	112
				賃借料の支払	-	未払金	521
				利息の支払	268	リース債務	4,607
				資金の回収(注2)	-	関係会社貸付金	777

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 取引金額は金融機関からの借入に対して、債務保証を行っている金額を記載しております。

(注2) 資金の貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

5. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 32,553円 63銭
- (2) 1株当たり当期純損失 188,972円 15銭

6. 重要な後発事象に関する注記

(募集株式(第三者割当)の発行)

当社は、2021年4月21日開催の臨時株主総会において、第三者割当による普通株式の発行を特別決議いたしました。本件は、2021年4月28日に払込手続を完了いたしました。本普通株式の発行の概要は以下の通りです。

(1) 株式の種類	株式会社ムーミン物語 普通株式
(2) 発行数	1,076株
(3) 発行価格(払込金額)	1株につき 金 221,600円
(4) 発行価額の総額	238百万円
(5) 資本組入額及び資本準備金組入額	資本組入額:1株につき 金 110,800円 資本準備金組入額:1株につき 金 110,800円
(6) 資本組入額の総額及び資本準備金組入額の総額	資本組入額の総額:119百万円 資本準備金組入額:119百万円
(7) 発行方法	第三者割当の方法により、株式会社松屋に451株、フィンテックグローバル株式会社に451株、Moomin Characters Oy Ltd.に87株、R&B Licensing ABに87株を割り当てる。
(8) 払込期日	2021年4月28日
(9) 調達資金の使途	運転資金の確保、財務基盤の強化及び安定を目的としております。

7. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。